テーマ別観光による地方誘客事業「社寺観光 巡礼の旅」事業報告

社寺観光地域連携協議会

平成29年3月17日(金)

項目

社寺観光
地域連携協議会

1．社寺観光地域連携協議会の概要

2．マーケティング調査

3．共通パンフレット作成

4．モニターツアー催行

5．共同ポータルサイト作成

6．今後の取組

イラスト：海老原英明

1．社寺観光地域連携協議会の概要

社寺観光
地域連携協議会

《**設立目的**》観光客の地方誘客を図る「社寺観光」という観点から
複数地域のネットワークの形成と効果的な観光振興事業の推進

《協議会メンバー》

・喜多院
・久能山東照宮
・仙台東照宮
・仙波東照宮
・日光東照宮
・富士山本宮浅間大社
・鳳来山東照宮
・松平東照宮

＊五十音順

（代表団体）
一般社団法人全日本社寺観光連盟

《活動内容》

①全国に点在する社寺を「巡礼の地」としてつなげる

②ゴールデンルート以外の地方へも観光客を分散するためにネットワークを形成

③国内外の人々が社寺観光を通じて我が国の歴史・文化等への理解を深める

④地域経済の発展に貢献するとともに、文化交流を深める

平成28年度テーマ：徳川家康公ゆかりの社寺を巡る

社寺観光
地域連携協議会

日本の礎を築いた将軍～天下泰平の世をつくり上げる～
江戸（東京）を築き、日本のこころのルーツになった偉人のストーリー

言わずと知れた日本三英傑のひとり徳川家康公。265年も続いた江戸幕府の礎を築きながら、その生涯と精神は意外に知られていない。近年、江戸時代や家康公の業績を見直そうという書籍等の販売が好調だ。過去には家康公をモデルとしたドラマや小説が海外でも大ヒット。小説「徳川家康」が中国で200万部以上のベストセラーとなり、平成20年の「最優秀外国書籍」に選出されるなど、時代と国境を越え話題を呼び続けている。家康公の実像に迫るために、そのルーツと足跡をたどる所縁の社寺を巡る企画を提案。

2． マーケティング調査

社寺観光
地域連携協議会

《**目的**》社寺の観光資源としての魅力と課題を明確化

《調査方法》

外国人調査員（アメリカ人）を伴い、社寺の現場と付近の視察・社寺関係者他への聞き取り調査

《調査対象》

鳳来山東照宮(愛知県)・松平東照宮及び高月院(愛知県)・喜多院及び仙波東照宮(埼玉県) ・日光東照宮及び輪王寺(栃木県)・仙台東照宮(宮城県)

2． マーケティング調査

社寺観光
地域連携協議会

《調査結果》ツアー造成のためのコンテンツは多様性があり、潜在価値は大きい。

●一目で文化的価値が高いと分かるものが各社寺において展示されており、建築物や庭園とあわせ日本文化の発信地であることは再確認できた。

●社寺側としては観光客の受け入れに対し好意的であり、社寺観光に対する期待を感じられた。

●日本人にとって思いがけないものが外国人には価値あるものであったりするケースが多々見られ、新しい観光資源に気づかされた。
例1）境内で寄附者リストが木札にて紹介されていることが珍しいということで、多くの外国人観光客が写真を背景に撮影していた。
例2）木魚を持たせてもらったり、梵鐘を鳴らさせてもらうことなどの簡単な体験が大きな満足感を与えることがわかった。

《課題》

・価値に即した展示がなされていないケースが見受けられ、展示の改善
例）英語表記（多言語表記）されている社寺は非常に少なく、英語表記されている場合でも説明が不十分なケースが多々見られた。
・観光客の受け入れ体制の改善

3．共通パンフレット作成

社寺観光
地域連携協議会

《目的》テーマの魅力を国内外へ発信・複数地域への来訪需要を喚起

家康公ゆかりの社寺を特集した特別感のあるパンフレットを多言語で作成。基礎知識のない外国人にも社寺にはそれぞれストーリーがあり、巡ることで知識に応じた魅力を体験できるように理解してもらうことを追求

《これまでの取組》

・家康公の存在を知らない人でも江戸＝東京を築いた人として興味が沸くように解説
・偉人伝のように家康公の生涯を年代別に追い、それに沿うような形での社寺を掲載
・世界史にも符合するよう年表(西暦表示)を作成し、外国人観光客にも年代のイメージが浮かぶよう追及
・各社寺の催事スケジュールも掲載し、お勧めの訪問時期も追記

紙媒体として**日本語だけでなく英語も併記**し、**インバウンド対応**のパンフレットを**１万部発行**

※すでに掲載社寺及び関係観光施設30カ所以上に設置済

パンフレットを手に取った観光客がより深い情報も取得できるよう**QRコードを掲載**

更にいつどこでも共同ポータルサイトへアクセスすると**E-BOOK**としてパンフレットがWEB上で**閲覧可能**に

英文は文化の違う外国人観光客にも理解できるよう、分かりやすく解説！！

《今後の取組》趣向を新たに取り入れたものを制作・配布

4．モニターツアー催行

社寺観光
地域連携協議会

《**目的**》社寺を中心とする観光地を巡るツアー催行を通じ、外国人ならではの目線で日本の観光資源の新たな魅力を発掘し、その魅力を国内外へ発信・観光商品化

《催行内容》平和の世を望み乱世に終止符を打った家康公の足跡をたどる旅

日本の首都である東京(江戸)をつくった家康公が生まれ(岡崎)、出世し(浜松)、晩年の大御所政治(静岡)を行った各地を、ゆかりの社寺として巡ることでルーツや実像に迫る

日　数：3日間
参加者：12名
国　籍：アメリカ国籍１名(戦国武将オタク)、タイ国籍2名(コスプレイヤー1名含)、台湾国籍３名(台湾市場担当の旅行会社１名含)、フランス国籍2名(旅行会社:フランス市場担当・コスプレイヤー含)、スペイン国籍1名、マレーシア国籍１名、ロシア国籍1名、日本国籍1名(旅行会社:外国人向けオタク市場担当）

《御朱印帳》

家康公ゆかりの社寺を巡ることが聖地巡礼として特別感を演出できる御朱印帳を製作・配布

御朱印帳とは何かを
日本語、英語で解説

《ツアー催行にあたって》キーワード：特別感

一般のツアーでは体験できないものを**社寺観光地域連携協議会が企画することにより特別感のあるツアーを実現**

神職様・住職様のご案内、普段は非公開の場所への見学等

4．モニターツアー催行(視覚で圧倒される)

社寺観光
地域連携協議会

《行程：１日目》出生の地

岡崎市　天文11年(1542)12月26日家康公が誕生した地

- **徳川美術館(名古屋市)**　家康公の遺品が数多く収蔵されている
- **龍城神社**(岡崎市)　家康公誕生時に金色の龍が現れたという伝説がある
- **大樹寺**(岡崎市)　家康公が平和な世を築く決意を固めたとされる聖地

龍城神社

《ツアー参加者の声》

概略：概ね好評／歴史的なストーリーの解説で興味が深まった。

・龍城神社：非常にきれいに保たれていることに感動した（台湾国籍）

・大樹寺：徳川家の等身大の位牌はとても興味深い。写真や家系図が添えられているのはイメージが植え付けられて良かった。しかし詳細については英語に翻訳するほうが良い。（フランス国籍）

・大樹寺：悪い点があるとしたら床が冷たいこと。冬のシーズンは女性にとってつらいものになるに違いない（アメリカ国籍）

大樹寺

4．モニターツアー催行(他にはないものに惹かれる)

社寺観光
地域連携協議会

《行程：２日目》出世の道（青年期）

浜松市　家康公が青年期に過ごした出世の地）

・**浜松八幡宮**(浜松市)

家康公が身を潜めた際に瑞雲が立ち上がった楠がある

・**可睡齋**(袋井市)

家康公が武田勢に追われ隠れた洞穴がある

浜松八幡宮

住職様より写経、御守作り体験のサポートを頂きました
可睡齋

《ツアー参加者の声》

概略：概ね好評／日本独自のものに感銘。

・浜松八幡宮：歴史、建築、日本文化が揃い、想像より雰囲気がいい（台湾国籍）

・可睡齋：御守をつくったのも凄く良かった。御守の中に入れる写経を自分でつくったりして、他とは違う体験ができた（アメリカ国籍）

・可睡齋：雛祭りはとても印象的でとても美しかった。お寺、庭、各部屋は楽しかったが、写経は漢字を書くことができないから難しかった。でも写経体験はとても印象深いものになった（タイ国籍）

日本最大級
32段1200体のひな壇

4．モニターツアー催行(神職様・住職様と対話する)

社寺観光
地域連携協議会

《行程：３日目》幼少期と晩年期

静岡市(駿府)　家康公が人質時代(幼少期)と
大御所時代(晩年期) を過ごした地

・**臨済寺**(静岡市)

家康公人生の師である太原雪斎和尚から教育を受けたお寺

・**久能山東照宮**(静岡市)

家康公をご祭神としてお祀りする全国東照宮の創祀

臨済寺
お経を拝聴後に坐禅体験に挑戦

《ツアー参加者の声》

概略：概ね好評／本物に感動！

・臨済寺：座禅体験は非常に今回の旅行者に価値のあるものだと感じさせた（フランス国籍）

・久能山東照宮：家康公についてきちんと展示している久能山東照宮へ行く価値があると心より賛嘆します！特に日本の文化や歴史に興味ある外国人は、久能山東照宮に行けば勉強できて、充実的な旅行もできると思う（マレーシア国籍）

久能山東照宮
宮司様に境内をご案内頂き、国宝である本殿や家康公の神廟、宝物館についてご説明下さいました

4．モニターツアー催行

社寺観光
地域連携協議会

訪問先社寺に対する満足度は高く、本格的な体験よりも「おもてなし」に感動していた！

《**座談会**》参加者１人ずつに今回のモニターツアーへの参加した感想（魅力・課題等）をのべてもらい、出てきた課題の解決策について話し合いをした

《**良かった点**》

・山門から岡崎城を拝むビスタラインは景観の価値有（大樹寺）
・きれいに整備されている雰囲気（龍城神社）
・ただ歩くだけで気持ちいい。理由はわからないがアットホームな雰囲気（浜松八幡宮）
・住職が優しい、もてなそうとする心が伝わった。丸い窓や襖等の独特な日本の文化を感じられる（可睡齋）
・静かで観光地化していないのが良かった。竹千代手習いの間が見れた（臨済寺）
・木魚や太鼓を叩かせてくれた（臨済寺、久能山東照宮）
・昔から残っている本物があった（臨済寺、久能山東照宮、可睡齋）

４．モニターツアー催行

社寺観光
地域連携協議会

《悪かった点》

・ローカルガイドの話の重複、話す内容が自由すぎる（アメリカ国籍・台湾国籍）
・情報発信（社寺の情報が無い、どこで泊まれるかわからない）（ロシア国籍）
・各行程の時間がタイトで写真を撮る時間がなかった（多くの参加者）
・もっとＳＮＳ映えする内容がほしい
（体験、神職様や住職様と直接話をする機会や時間、着物を着るなど）（台湾国籍）
・家康公について事前に理解できるような仕組みを作ったほうがよい（旅行代理店）
・家康公のストーリーをより多く世界に向けて発信する（旅行代理店）
・全体的に訪問した箇所の滞在時間が短い（旅行代理店）

《解決策》

・ガイダンスのマニュアル化、通しのガイドをつける
・トップダウンでの観光戦略・重複回避、一貫性の担保
・オペレーションのマニュアル化
・わかりやすさ、簡潔さの追求
（見るべき場所や体験すべきものが何か明確にする）
・ＳＮＳ映えするような写真スポットの紹介など、
観光客目線を受け入れ側と共有

《今後の取組》

・他にはないものを持った
社寺をピックアップ
・訪問箇所でのおススメの
写真スポットを紹介
・訪問する社寺の
滞在時間を増やす
・体験型オプションの追加

4．モニターツアーの成果

社寺観光
地域連携協議会

↑
静岡放送
「ひるおび！」

静岡新聞
↓

外国人 座禅に「集中」

静岡など 家康ゆかりの名所巡る

巡るモニターツアーが15～17日、浜松市や静岡市などで行われた。外国人ら12人が参加し、最終日は臨済寺（静岡市葵区）や久能山東照宮（同市駿河区）などを巡った。

臨済寺は、家康が幼少期に教育を受けた寺とされる。参加者は座禅に挑戦し、背筋を伸ばして15分間心を静めた。「警策」と呼ばれる木の棒で背中を打たれた米国籍のヤング・ビルさん（53）は「集中できた。とても気持ちが良かった」と笑顔を見せた。

ツアーを主催した社寺観光地域連携協議会は、家康ゆかりの社寺に焦点を当て、オリジナルのパンフレットや朱印帳の作製に取り組んでいるという。

《メディア・ＳＮＳ掲載情報一覧》

・2017年2月17日(金)静岡放送「ひるおび！」内ローカル枠にて紹介
・2017年2月18日(土)の静岡新聞に掲載
・世界中のコスプレイヤーに発信しているＦａｃｅｂｏｏｋアカウント「AkibaLand Tours ~*~Maid Guide~*~」にて社寺の魅力を発信。
・ツアー参加者による社寺の魅力をＳＮＳにて発信

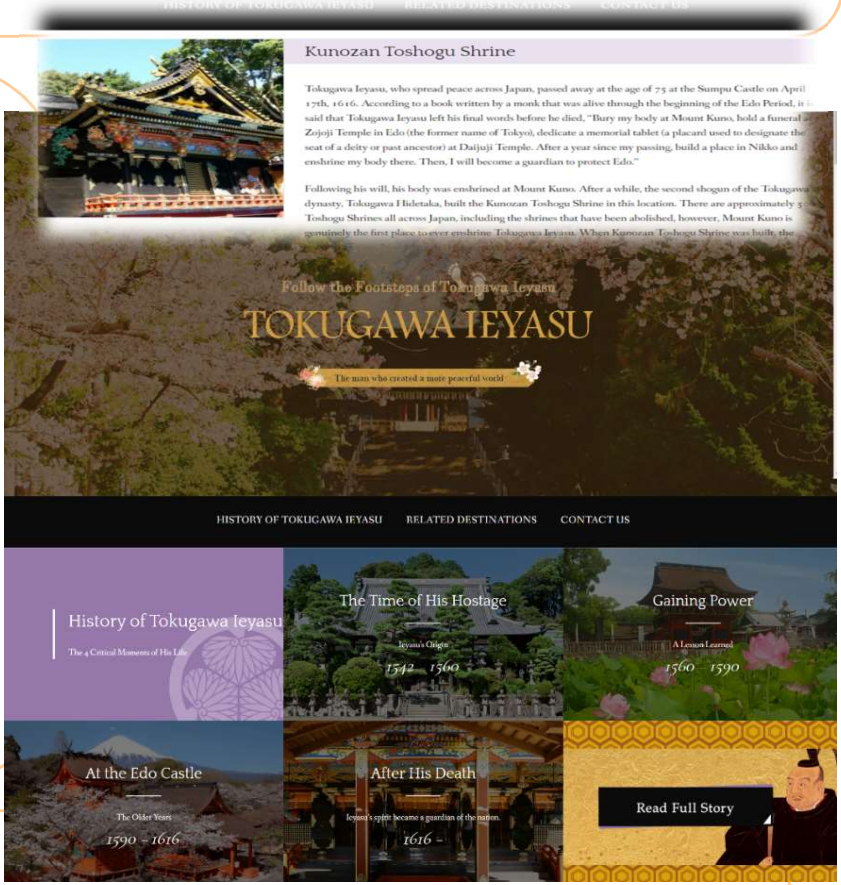
5．共同ポータルサイト作成

社寺観光
地域連携協議会

《**目的**》全国に点在する徳川家康公ゆかりの社寺をポータルサイトで一括紹介することにより、武将ファンのみならずストーリーに引き寄せられた観光客が全国の社寺へ旅に出かける訴求効果を追及

《これまでの取組》

- 家康公ゆかりの社寺、日本全国から厳選約40件を掲載
  ※今後掲載予定のものも含み、且つ随時追加更新予定
- 江戸＝東京をつくり上げた偉人・家康公の生涯を社寺に伝わる秘蔵エピソードともに紹介
- モニターツアー参加者の生の声を掲載
- **スマートフォン対応・英語対応**で外国人観光客にも分かりやすいサイトを追及
  英文は文化の違う外国人観光客にも理解できるよう、分かりやすく解説！！



《今後の取組》

- アクセス解析で関心の高い層を特定し、そのターゲットに向けた情報発信
- 各社寺の近隣施設、観光スポットなどの情報を追記、観光客の情報収集の利便性を追求
- 人気ブロガーなど海外のインフルエンサーとの連携をはかり、国外への発信力強化

６．今後の取り組み

社寺観光
地域連携協議会

外国人にも興味をひくような

ツアーの造成

新たな体験型コンテンツの追加
によるネットワークの拡大

情報発信の強化

家康公にも触れつつ「**修行**」（**SYUGYO**）に間口を広げることが、
外国人観光客にとって訴求しやすく興味もひきやすいのではないかと考える
⇩
社寺は日光山・久能山・富士山・鳳来山などの霊山とも
密接な関係がある為、２８年度事業の共同ポータルサイトで
掲載した約４０か所のネットワークを活用し、２９年度は
「徳川家康公ゆかりの社寺～修行編～」とし
新たに「**修行の道を歩く**」と融合させたストーリーを展開し、
更なる**ネットワークの拡大**と**テーマの深化**を目指します。